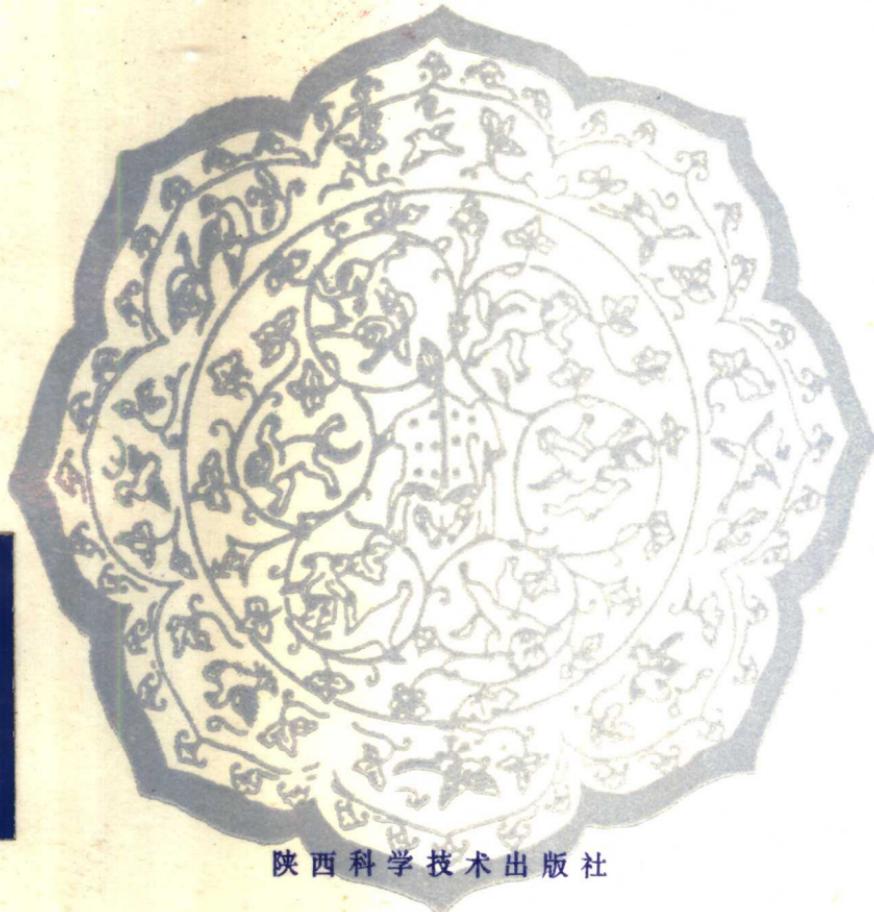


《伤寒论》词语解释

严育斌 编著



陕西科学技术出版社

《伤寒论》词语解释

严育斌 编著

陕西科学技术出版社

《伤寒论》词语解释

严育斌 编著

陕西科学技术出版社出版发行

(西安北大街131号)

新华书店经销 西安青山彩印厂印刷
787×1092毫米 32开本 4.125印张 8万字

1990年5月第1版 1990年5月第1次印刷

印数：1—4,000

ISBN 7-5369-0680-3/R·198

定价：2.15元

前　　言

《伤寒论》是我国汉代医学家张仲景的杰作，是祖国医学经典著作之一。它不但继承了后汉以前的医学大成，同时也结合了作者自己积累的经验，是一部珍贵的医学书籍。它以“六经”为纲领，叙述疾病发展的一般规律，反复阐述“辨证论治”在具体实践中应该如何正确掌握和灵活运用。《伤寒论》最出色的成就，就是理论联系实际，所以它是学习祖国医学的必读之书。

《伤寒论》文词古奥，言简意赅。历代注解，大多见仁见智，各有所长，也各有所偏。其中更有妄增臆改，且词语多难理解，又未曾系统地汇集阐述，致使后来的读者不容易领会其精神实质。为了满足广大读者的需要，笔者不揣荒陋，在不影响对《伤寒论》基本内容理解的前提下，集其词语六百余条，经过反复系统的整理，用现代汉语并结合历代名家之注而编写成此书。此书有一定的实用价值，可作为中医院校学生、中医临床工作者、西医学习中医和自学中医者的必备参考书。但限于个人水平，书中不足之处，尚祈读者批评指正。

本书在编写过程中，得到北京中医学院伤寒教研室刘渡舟教授、王庆国同志的大力支持，赵敏霞、王建安同志也做了大量工作，谨致以衷心的感谢！

编 者

1989年9月

目 录

伤寒论	(1)	伤寒二三日，阳明、 少阳证不见者，为 不传也	(6)
张机	(1)	温病	(6)
伤寒	(1)	灼热	(7)
六经	(2)	风温	(7)
太阳经	(2)	脉阴阳俱浮	(7)
太阳病	(2)	失溲	(7)
之	(3)	若被火	(7)
脉浮	(3)	瘛疭	(7)
恶寒	(3)	逆	(8)
头项强痛	(3)	火熏	(8)
恶风	(3)	齁	(8)
脉缓	(4)	发于阳，七日愈，发 于阴，六日愈，以阳 数七，阴数六故也…	(8)
中风	(4)	头痛至七日以上自愈 者，以行其经尽故 也	(8)
或已发热，或未发热， 必恶寒	(4)	若欲作再经	(8)
脉阴阳俱紧	(5)	针足阳明	(9)
名曰伤寒	(5)	太阳病，欲解时，从 巳至未上	(9)
伤寒	(5)		
脉静	(5)		
传	(5)		
欲吐	(5)		
躁烦	(6)		
脉数急	(6)		

风家	(9)	不中与	(13)
不了了	(9)	解肌	(13)
十二日愈	(9)	识	(13)
大	(9)	桂枝本为解肌	(13)
皮肤	(9)	酒客病	(13)
骨髓	(10)	得之则呕	(13)
阳浮而阴弱	(10)	喘家	(13)
啬啬恶寒	(10)	其后必吐脓血	(13)
渐渐恶风	(10)	遂漏不止	(14)
翕翕发热	(10)	小便难	(15)
鼻鸣干呕	(11)	四肢微急，难于屈伸	(15)
哎咀	(11)	脉促	(15)
微火	(11)	微恶寒	(16)
适寒温	(11)	如疟状	(16)
须臾	(11)	清便欲自可	(16)
歔	(11)	脉微缓	(16)
温覆	(11)	阴阳俱虚	(16)
摵摵	(11)	面色反有热色	(17)
小促其间	(11)	身必痒	(17)
周时	(11)	株	(17)
五辛	(11)	反烦不解	(17)
升	(12)	风池	(17)
项背强几几	(12)	风府	(17)
反汗出恶风	(12)	脉洪大	(17)
内	(12)	大烦渴不解	(18)
将息	(12)	无阳	(18)
其气上冲	(12)	越婢	(18)
温针	(12)	心下满微痛	(18)
坏病	(13)	脚挛急	(18)

得之便厥	(18)	面色缘缘正赤	(25)
谵语	(19)	阳气怫郁	(25)
阳旦	(19)	解之、薰之	(25)
两胫拘急	(19)	不足言	(25)
太阳与阳明合病	(19)	短气但坐	(25)
自下利	(19)	脉涩	(26)
利遂不止	(20)	自汗出乃解	(26)
喘	(20)	尺中脉微	(26)
去上沫	(20)	身重	(26)
嗜卧	(20)	心悸	(26)
外已解也	(21)	须表里实	(26)
不汗出而烦躁	(21)	尺中迟	(27)
厥逆	(21)	荣气	(27)
筋惕肉瞤	(21)	卫气不共荣气谐和	(27)
温粉	(21)	脏无他病	(28)
乍有轻时	(22)	因致衄	(28)
无少阴证	(22)	凡病	(29)
伤寒表不解	(22)	阴阳自和	(29)
心下有水气	(22)	亡津液	(29)
或然证	(22)	勿治之	(29)
嗜	(23)	振寒	(30)
寒去欲解	(23)	内外俱虚	(30)
外证未解	(23)	昼夜烦躁不得眠，夜	
脉浮弱	(23)	而安静	(30)
欲解外	(23)	顿服	(31)
其人发烦目瞑，剧者		脉沉迟	(31)
必衄，衄乃解	(24)	更行	(31)
阳气重	(24)	黄耳拯	(31)
二阳并病	(24)	叉手自冒心	(31)

脐下悸	(31)	少气	(38)
奔豚	(31)	烦热	(38)
甘澜水	(32)	胸中窒	(39)
腹胀满	(32)	心中结痛	(39)
心下逆满，气上冲		未欲解	(39)
胸	(32)	心烦腹满	(39)
起则头眩	(33)	丸药	(40)
发汗则动经，身为振		旧微溏	(40)
振摇	(33)	身颤动，振振欲擗地	(40)
反恶寒者，虚故也	(34)	仍发热	(40)
病仍不解，烦躁	(34)	咽喉干燥	(40)
胃气	(34)	津家	(41)
实也	(35)	便血	(41)
胃中干	(35)	疮家	(41)
消渴	(35)	瘞	(41)
散	(36)	齶家	(42)
白饮	(36)	額上陷脉	(42)
方寸匕	(36)	直视不能瞬	(42)
发汗已	(36)	亡血家	(42)
烦渴	(36)	寒栗而振	(42)
表里证	(36)	汗家	(43)
水逆	(37)	恍惚心乱	(43)
特脉	(37)	小便已阴疼	(43)
耳聋无闻	(37)	复	(43)
灌	(37)	衄	(44)
逆	(38)	下利清谷	(44)
虚烦	(38)	清便自调	(44)
反复颠倒	(38)	若不差	(44)
心中懊恼	(38)	冒	(44)

腎家	(45)	脉当微厥	(51)
脉阴阳俱停	(45)	反和	(51)
阳微脉	(45)	热结膀胱	(51)
阴微脉	(46)	如狂	(52)
营弱卫强	(46)	少腹急结	(52)
救	(46)	胸满烦惊	(53)
邪风	(46)	肝乘脾，名曰纵	(53)
往来寒热	(47)	期门	(53)
胸胁苦满	(47)	肝乘肺，名曰横	(53)
嘿嘿不欲饮食	(48)	矧	(54)
喜呕	(48)	卓然而痛	(54)
血弱气尽	(48)	谷气	(55)
腠理	(48)	火劫发汗	(55)
正气	(48)	两阳	(55)
藏府相连，其痛必下， 邪高痛下	(48)	阳盛	(55)
后必下重	(49)	阴盛	(55)
食谷者哕	(49)	欲失溲	(55)
阳脉涩	(49)	阴阳俱虚竭	(55)
阴脉弦	(49)	但头汗出，剂颈 而还	(55)
腹中急痛	(49)	捻衣摸床	(55)
但见一证	(49)	亡阳	(56)
柴胡汤病证	(50)	惊狂	(56)
蒸蒸而振	(50)	形作伤寒	(57)
过经	(50)	到经不解	(57)
心下急	(50)	清血	(57)
郁郁微烦	(51)	灸	(57)
目晡所	(51)	嘔燥吐血	(57)
潮热	(51)	追虚逐实	(57)

血散脉中	(58)	藏结	(64)
焦骨伤筋	(58)	舌上白胎滑	(64)
邪无从出	(58)	无阳证	(64)
因火而盛	(58)	反静	(64)
火逆	(58)	病发于阳，病发于阴	
重而痹	(58)		(65)
烧针	(59)	痞	(65)
针处被寒，核起而赤		柔痉	(65)
	(59)	悉具	(65)
灸其核上各一壮	(59)	烦躁	(66)
惊	(59)	动	(66)
关上脉细数	(59)	膈内拒痛	(66)
小逆	(60)	客气	(66)
糜粥	(60)	心中懊惄	(66)
内烦	(60)	阳气	(66)
消谷引食	(60)	辘	(67)
膈气	(60)	结胸热实	(67)
客热	(60)	按之石硬	(67)
心下温温欲吐	(61)	无大热	(67)
极吐下	(61)	头微汗出	(67)
不尔	(62)	痛不可近	(67)
太阳随经，瘀热在里		大结胸	(67)
	(62)	小结胸	(68)
血证谛	(62)	寒分	(68)
为无血也	(62)	协热利	(68)
身黄	(62)	澼	(68)
有血	(63)	弥更	(68)
苦里急	(63)	肉上粟起	(68)
结胸	(63)	寒实结胸	(68)

太阳与少阳并病	(69)	谷不化	(73)
大椎第一间	(69)	客气上逆	(73)
肺俞、肝俞	(69)	服汤药	(74)
经水	(69)	理中者，理中焦	(74)
热入血室	(69)	下焦	(74)
昼而明了，暮则谵语	(70)	痿	(74)
无犯胃气及上二焦	(70)	噫气	(74)
支节烦痛	(70)	数下	(75)
心下支结	(70)	攻痞	(75)
阳微结	(71)	不得息	(75)
纯阴结	(71)	胸有寒	(75)
濡	(71)	入阴筋	(75)
紧反入里	(71)	表热	(75)
平旦	(71)	时时恶风	(75)
遂发热恶寒	(72)	欲饮水数升	(75)
阴阳气并竭	(72)	背微恶寒	(76)
无阳而阴独	(72)	胸中有热，胃中有邪气	(76)
面色青黄	(72)	风湿相搏	(76)
肤瞤	(72)	身体痛烦	(76)
心下	(72)	如冒状	(76)
脉关上浮	(72)	骨节疼痛	(77)
麻沸汤	(72)	结代脉	(77)
渍	(73)	心动悸	(77)
须臾绞去滓	(73)	清酒	(77)
泻心	(73)	动	(77)
干噫食臭	(73)	难治	(78)
腹中雷鸣	(73)	阳明经	(78)
		阳明病	(78)

太阳阳明	(78)	至戌上	(85)
正阳阳明	(79)	脉迟	(85)
少阳阳明	(79)	头眩	(86)
脾约	(79)	谷瘅	(86)
胃家实	(79)	如虫行皮中状	(86)
不更衣	(80)	潮热	(87)
内实	(80)	盗汗	(87)
外证	(80)	但欲漱水，不欲吐	(87)
恶热	(80)	面合色赤	(87)
恶寒	(81)	转失气	(88)
主土	(81)	鼻声	(88)
万物所归，无所复传	(81)	直视	(88)
汗出濶濶然	(82)	亡其阳	(88)
脉大	(82)	脉短	(88)
系在太阴	(82)	脉自和	(88)
转系阳明	(82)	脉弦者生，涩者死	(88)
能食名中风，不能食名		脉滑而疾	(89)
中寒	(82)	微涩	(89)
中寒	(83)	胃中必有燥屎五六枚	(89)
手足濶然汗出	(83)	此为风也	(89)
固瘕	(84)	过经	(90)
胃中冷	(84)	表虚里实	(90)
水谷不别	(84)	三阳合病	(90)
奄然发狂	(84)	口不仁	(90)
谷气	(84)	面垢	(90)
水不胜谷气，与汗共 并，脉紧则愈	(84)	心愦愦	(90)
阳明病，欲解时，从申		惊惕	(91)
		舌上胎	(91)
		饥不能食	(91)

小便自可	(91)	蒸蒸发热	(95)
胃气因和	(91)	属胃	(95)
上焦	(92)	目中不了了	(95)
腹都满	(92)	睛不和	(95)
津液内竭	(92)	无表里证	(95)
导	(92)	减不足言	(95)
土瓜根	(92)	其脉不负者，为顺也， 负者，失也	(95)
食蜜	(92)	合热则消谷善饥	(96)
谷道	(92)	瘀血	(96)
法醋	(92)	伤寒瘀热在里	(96)
热越	(93)	潦水	(96)
一食顷	(93)	少阳经	(96)
水浆	(93)	少阳病	(97)
瘀热	(93)	目眩	(97)
喜忘	(93)	少阳中风	(97)
畜血	(93)	此属胃	(97)
绕脐痛	(93)	上关上	(97)
发作有时	(93)	目合则汗	(97)
喘冒	(93)	阳去入阴	(97)
食谷欲呕	(94)	三阳为尽	(98)
属阳明	(94)	三阴当受邪	(98)
脉阳微	(94)	脉小	(98)
阳脉实	(94)	少阳病，欲解时，从寅 至辰上	(98)
阳绝于里	(94)	太阴经	(98)
芤	(94)	太阴病	(99)
趺阳脉	(94)	自利	(99)
胃气生热	(94)	胸下结硬	(99)
其阳则绝	(94)		
发汗不解	(95)		

太阴病，欲解时，从亥	
至丑上	(99)
藏有寒	(100)
四逆辈	(100)
系在太阴	(100)
脾家实	(100)
暴烦下利	(100)
腐秽当去	(100)
行	(101)
易动	(101)
少阴经	(101)
少阴病	(101)
脉微细	(101)
但欲寐	(102)
欲吐不吐	(102)
下焦	(102)
火气劫	(102)
脉暴微	(102)
必自愈	(103)
踡卧	(103)
少阴病，欲解时，从子	
至寅上	(103)
灸少阴	(103)
七壮	(103)
下厥上竭	(103)
时时自冒	(104)
息高	(104)
无里证	(104)
口中和	(104)
白粉	(104)
生疮	(105)
苦酒	(105)
刀环	(105)
脉暴出者死，微续者生	
内寒外热	(106)
利止脉不出	(106)
面色赤	(106)
少阴病四逆	(106)
坼	(106)
色纯青	(107)
必数更衣，反少者	(107)
当温其上，灸之	(107)
厥阴经	(107)
厥阴病	(108)
气上撞心	(108)
心中痛热	(108)
饥而不欲食	(108)
食则吐衄	(108)
厥阴病，欲解时，从丑	
至卯上	(109)
诸四逆厥者，不可下之	
虚家	(109)
厥利	(109)
除中	(109)
食以索饼	(110)
脉之	(110)

旦日夜半	(110)	郁冒	(113)
彻	(110)	下虚	(113)
其喉为痹	(110)	脉反实	(113)
厥深者热亦深，厥微者 热亦微	(110)	吐涎沫	(113)
厥应下之	(110)	外气怫郁	(114)
口伤烂赤	(110)	前后	(114)
藏厥	(111)	霍乱	(114)
脏寒	(111)	至阴经上	(114)
出汗	(111)	后经	(115)
微厥	(111)	筑	(114)
膀胱关元	(111)	消息	(115)
灸厥阴	(111)	拘急	(115)
有阴无阳	(111)	脉平	(115)
便	(111)	小烦	(115)
腹濡	(112)	新虚	(115)
亡血	(112)	谷气	(115)
久寒	(112)	阴阳易	(115)
内拘急	(112)	引阴中拘挛	(115)
邪	(112)	烧裈散	(115)
胸中	(112)	大病	(115)
水渍入胃	(112)	劳复	(116)
下部脉不至	(112)	清浆水	(116)
喉咽不利	(112)	博其子大	(116)
本自寒下	(112)	喜睡	(116)
寒格	(112)	久不了了	(116)
少阴负趺阳	(113)	虚羸	(116)
		脉已解	(116)
		损谷	(116)

《伤寒论》：《伤寒论》是东汉医家张机的巨著，是我国第一部理论与实践相结合阐述多种外感热病辨证论治的专书。原书《伤寒杂病论》，内容包括《伤寒论》和《金匱要略》两个部分，约成书于公元三世纪初叶（公元200—210年）。书成以后正值汉末初期，战乱纷起，以致原书散失不全。后经西晋太医令王叔和将该书的《伤寒论》部分进行了收集、整理、编次，至宋代复经林亿等加以校正，方传于今日。全书共十卷，凡二十二篇，合三百九十七法，除去重复和缺方，共计一百一十二方，药物计八十二味。

张机：东汉时杰出医学家，字仲景，南阳涅阳（今河南南阳）人。据张氏著《伤寒论》自序署名“汉长沙守南阳张机著”，认为曾任长沙太守；但有人持不同意见，因考当时长沙太守中并无张机之名，一时不能定论。张氏治学严谨，重视前人学术经验，以《内经》等医籍理论为基础，结合个人心得，著成《伤寒杂病论》，充实和发展了《内经》的热病学说，为中医学辨证论治奠定了基础，后世尊为“医圣”。

伤寒：《伤寒论》以伤寒命名，伤寒两字的涵义有广义和狭义之分。所谓广义伤寒，即《素问·热论》所说：“今夫热病者，皆伤寒之类也”。《难经·五十八难》又说：“伤寒有五，‘有中风、有伤寒、有湿温、有热病、有温